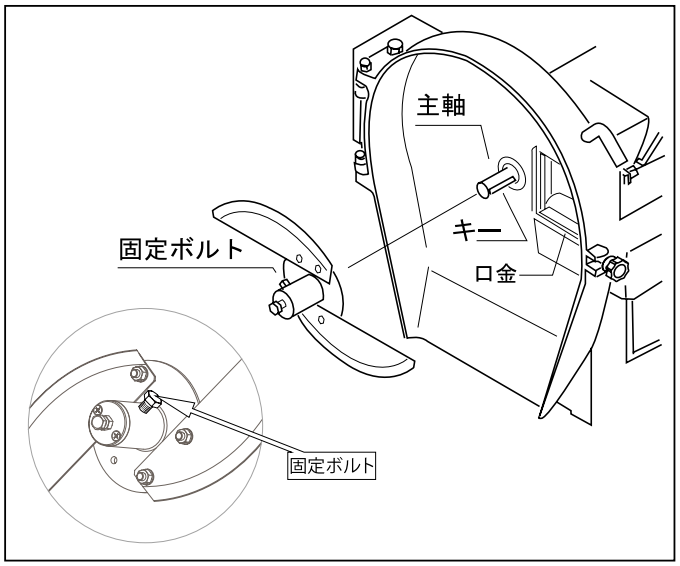
MGS-100型フードスライサー簡易操作ガイド

㈱エムラ販売
www.emura.co.jp

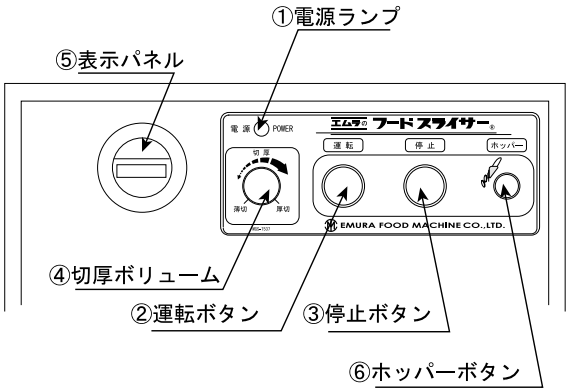


使用前に刃欠けがないか確認してください。

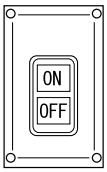
前扉を開き刃物アッセンのキー溝を主軸のキー位置に合わせて突き当たるまで押込みます。
固定ボルトを確実に締め付けます。

・口金と刃面とのすき間調整は取扱説明書を参照して下さい。一度調整した刃物は使用するたびに調整する必要はありませんが、機械にセットしたときに接触するところがないか確認してください

前扉を閉めてハンドボルトを確実に締めてください。



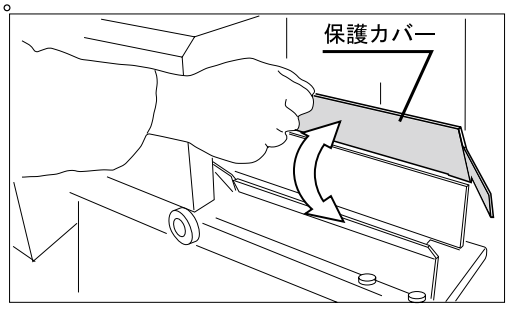
No、	名　　称	機　　能
①	電源ランプ	差込プラグをコンセントに差込み、電源スイッチを「ON」にすると点灯します。
②	運転ボタン	機械を運転させます。
③	停止ボタン	機械を停止させます。 緊急用の停止ボタンも兼用しています。
④	切厚ボリューム	切厚さを設定できます。
⑤	表示パネル	電源の「ON」又は「OFF」を確認できます。 ④で設定した切り厚さを表示します。 インバータ保護機能が動作した場合の内容を表示します。
⑥	ホッパーボタン	上・下コンベアの運転・停止を切り換えます。 斜切りホッパーを使用する時に、点灯させます。



電源スイッチ

操作方法

①電源スイッチを「ON」にします。電源ランプ及び表示パネルの点灯を確認します。
②ホッパーボタンの消灯を確認します。
③切厚ボリュームで切り厚さを設定します。
④運転ボタンを押し機械を運転します。
⑤機械内部から異音を発していないか、刃物が何かに当たっているような音がしていないか確認します。
⑥保護カバーを開けた時に機械が一時停止し、閉めた時に運転するか確認します。
⑦停止ボタンを押し、機械の停止を確認します。
⑧さらにこの段階で機械に異常が無いことを確認し、作業を始めてください。
⑨保護カバーを開けて材料を投入します。
⑩保護カバーを閉めて、運転ボタンを押し、異常なく材料が加工されて出てくれば、続けて材料をコンベアに投入してください。
⑪続けて材料を投入する場合は保護カバーを開けます。機械は一時停止します。
⑫保護カバーを閉めると機械は運転をします。



●長い材料を切る場合はコンベア後部より投入してください。保護カバーを開閉する必要はありません。

作業が終わった時又は休止する場合は
①停止ボタンを押します。機械は停止します。
②電源スイッチを「OFF」にします。
③電源ランプが消灯し10～15秒後に表示パネルが消灯します。

●終業時には、しゃ断器を「OFF」にします。機械への電源がしゃ断されます。

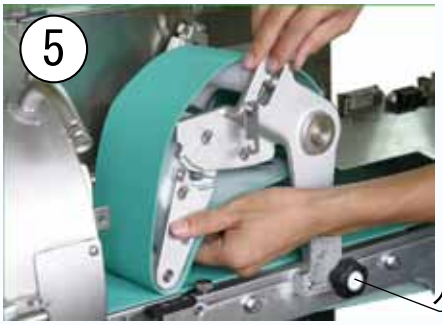
取扱説明書に記載されている安全警告・注意事項をよくお読みになり正しくお使いください。

MGS-100型フードスライサーの分解清掃

①コンベアカバーを開けます。

②底板及び左サイドプレートのノブねじをゆるめます。底板と左サイドプレートを取り外します。

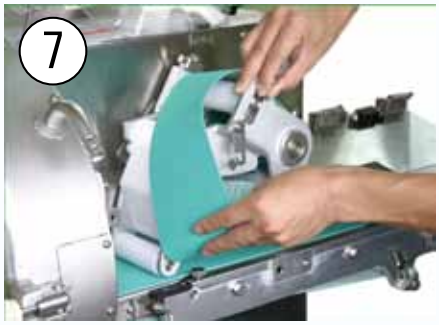
（③引き上げスプリングを前側取付している場合はスプリングをスプリング掛けAから外します。）



④上コンベアフレームを持ち上げレバーを手前に引きレバーでロック軸を180°回します。

⑤上コンベアフレームの先端を下に押し付けて、上コンベアフレームを折り曲げます。

⑥ノブねじをゆるめて取り外し、ヒンジアームを手前に引き抜きます。



⑦上コンベアフレームの先端からコンベアベルトを外し始め、最後にヒンジ部分をくぐらせるようにして、コンベアベルトを取り外します。

⑧下フレームのレバーでロック軸を180°回して下コンベアフレーム先端部を下に折り曲げます。

⑨下コンベアフレーム先端からのコンベアベルトを外し始めると取り外せます。

フード円板、コンベアフレーム、ローラー、取り外した上下コンベアベルト等をきれいに洗浄してください。
組立は逆の手順で行います。

-取扱説明書を良くお読みになり正しくお使いください-

2005. 10